様　式　Ｃ－１９、Ｆ－１９－１、Ｚ－１９　（共通）

科学研究費助成事業　　研究成果報告書

平成 ２９ 年　 ６ 月 ２０ 日現在

機関番号：３２６０４
研究種目：若手研究(B)
研究期間：2013～2016
課題番号：２５８７０４０９

研究課題名（和文）ハワイ語ラジオ番組の相互行為分析

研究課題名（英文）An interactional analysis of a Hawaiian language radio program

研究代表者
古川　敏明（FURUKAWA, Toshiaki）

大妻女子大学・文学部・講師

研究者番号：９０６０９３７２

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費）　　2,800,000円

研究成果の概要（和文）：本研究はアメリカ合衆国ハワイ州におけるラジオ番組カ・レオ・ハワイを分析対象としている。1970～80年代にホノルルで放送された400を越える番組の録音に基づき、番組の全体像を描き出すことを目指した。カ・レオ・ハワイは、ハワイ先住民の言語文化の記録を通じてコミュニティの形成と維持を行うメディア実践であった。

研究成果の概要（英文）：This study analyzes a Hawaiian language radio program, Ka Leo Hawai‘i, broadcast in Honolulu, Hawai‘i. Based on a collection of recordings of over four hundred shows from the 1970s and 1980s, it attempts to describe what the program was like at that period. The program can be described as a media practice that formed and maintained a community through documenting the language and culture of Native Hawaiians.

研究分野：言語学

キーワード：ハワイ語　ラジオ　相互行為　談話　会話　メディア

１．研究開始当初の背景

危機言語のドキュメンテーションは文法書、辞書、テクストを構築してきた。しかし、多くの場合、相互行為に対する視点が十分でない。相互行為の視点を取り込んで話し言葉のテクストを構築・分析し、危機言語による相互行為のメカニズムを明らかにしたい。

２．研究の目的

危機言語のドキュメンテーションおよび再活性化運動の成功例にハワイ語がある。しかし、ハワイ語の場合も相互行為への視座が十分生かされてこなかった。本研究は危機言語とメディアの関係性に着目し、ハワイ語ラジオ番組における相互行為を分析する。

３．研究の方法

1972 年から 1988 年（番組第 1 期）まで放送されたハワイ語ラジオ番組「カ・レオ・ハワイ」（Ka Leo Hawai‘i）の録音資料の分類、整理、文字起こしを行う。

また、文字起こししたデータの分析を行い、類似例の抜粋、コレクションの構築、および一般化を目指す。

４．研究成果

研究期間全体を通じて実施した研究の成果は以下の 4 点である。

(1)番組に関する情報を整理・集約し、出演者の出生地、言語的影響を受けた場所など、番組の全容をまとめた論文を発表した（詳細は古川（2015）参照）。

カ・レオ・ハワイの年別の放送回数は以下の通りである。

年	開始 (tape#)	終了 (tape#)	放送回数
1972	1	20	20
1973	21	50	30
1974	52	81B	30
1975	83	113	31
1976	114A	141B	28
1977	142A	168B	27
1978	169A	196B	28
1979	197A	222B	26
1980	223A	251B	29
1981	252A	275D	24
1982	276A	300	25
1983	301	327	27
1984	328	357	30
1985	358	380	23
1986	381	397	17
1987	398	413	16
1988	414	417	4

表 1. 年別の放送回数

番組パーソナリティのキムラ氏が教育研究の場をオアフ島からハワイ島に移したことが直接的な原因となり、キムラ氏をパーソナリティとする番組の第 1 期が収束していった。（別の人物たちをパーソナリティとする番組の第 2 期については、新たな科研プロジェクトで調査を進めている。）

ゲストの出生地については以下の通りである。

出生地	放送回数	%
ニイハウ島	14	3.4
カウアイ島	22	5.3
オアフ島	125	30.0
マウイ島	40	9.6
ラナイ島	0	0.0
モロカイ島	15	3.6
カホオラヴェ島	0	0.0
ハワイ島	104	24.9
不明	76	18.2
アメリカ本土	13	3.1
その他	8	1.9

表 2. ゲストの出生地

主要な番組スタッフ、常連ゲストの出生地が統計に大きく反映されており、オアフ島とハワイ島が突出した値を示している。出生地と関係のある言語的影響を受けた場所についても同じような状況である。

(2)ハワイ先住民文化を専門とする研究協力者 3 名の助力を得て、28 回分（約 31 時間）の音声データを文字化した。テープ番号（音声ファイル番号）は、HV24.1、4、6-14、16、19、35、40、52、94、106、124、125、188、203、291、325、364、374、385、417 である。文字起こししたファイルは、放送開始 1-2 年のものが多くなっているが（28 回中 15 回）、それ以外の期間のファイルについても文字起こしを行った（28 回中 13 回）。

(3)カ・レオ・ハワイの元パーソナリティであり、現在、ハワイ大学ヒロ校の研究者であるラリー・カウアノエ・キムラ氏との共同プロジェクトとして、文字化したデータの公開を進めている。

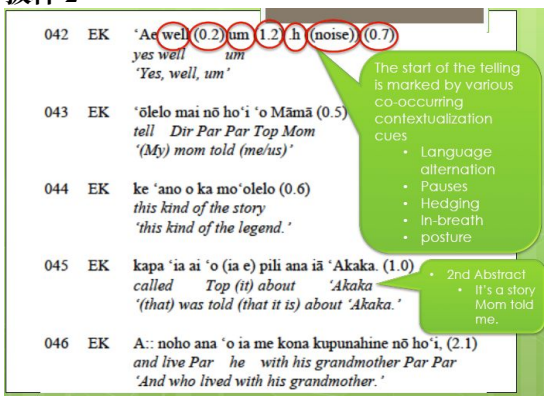
(4)ハワイ語を含む多言語な言語実践に関し、会話中の言語選択および切り替え、物語の協働的構築、地理的話題の効果と帰結に着目して相互行為分析を行った。分析をするにあたって、会話の抜粋を（下から）英語訳、逐語訳、ハワイ語発話という 3 段で表記する。

抜粋 1

001	LK	Kala mai ho‘i kē‘ia wahi pilikia. *excuse Dir Par this a little problem* *‘Excuse (me/us) for this small problem.’*

音声ファイル HV24.40 の中から、ホスト（LK）とゲスト（EK）の間のやりとりの一部を例として示す。

抜粋 2



先行する発話として、ホストの LK がゲストの EK に出生地について尋ねるやりとりがある。地名に関するやりとりは、42 行目にあるように、その地名に関する伝説についてのナラティブを誘発している。また、EK による伝説の語り始めは、言語の切り替え、間、吸気、座り直しなど、さまざまな言語及び非言語行為と共起していることが観察できる。

５．主な発表論文等
（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 2 件）

① 古川敏明、ハワイ語と英語の混淆コードによるメディアトーク: テレビ番組 MC と解説者の言語実践分析、コミュニケーション文化論集、査読無、Vol.14、2016、pp.51-68

② 古川敏明、メディア実践を通じた言語再活性化: ハワイ語ラジオ番組カ・レオ・ハワイはどのような番組だったのか、人間生活文化研究、査読無、Vol.25、2015、pp.16-24、http://journal.otsuma.ac.jp/2015no25/2015_16.pdf

〔学会発表〕（計 4 件）

① FURUKAWA, Toshiaki, Taking a discursive approach to the tellings of legends on a Hawaiian language radio program, 5th International Conference of Language Documentation and Conservation, 2017 年 3 月 4 日, University of Hawai'i at Mānoa (USA)

② FURUKAWA, Toshiaki, Revisiting codeswitching in a Hawaiian language radio program, Department of Linguistics Tuesday Seminar, 2015 年 8 月 25 日, University of Hawai'i at Mānoa (USA)

③ FURUKAWA, Toshiaki, Storytelling in a Hawaiian language radio show: A conversation analysis of Ka Leo Hawai'i, トーク＆テクスト研究会, 2015 年 3 月 28 日, 大妻女子大学

④ 古川敏明、ハワイ語ラジオ番組「カ・レオ・ハワイ」における言語実践、ハワイ研究会分科会、2014 年 6 月 21 日、大妻女子大学

〔図書〕（計 1 件）

① 古川敏明、大妻女子大学人間生活文化研究所、ハワイ語の世界（電子書籍）、2016、90

〔産業財産権〕

○出願状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

６．研究組織
(1)研究代表者
古川 敏明（FURUKAWA, Toshiaki）
大妻女子大学・文学部・講師
研究者番号：90609372

(2)研究分担者
（　　）

研究者番号：

(3)連携研究者
（　　）

研究者番号：

(4)研究協力者
土肥 麻衣子（DOI, Maiko）

ハワイ大学マノア校大学院修士課程修了

TANAKA, Manakō
ハワイ大学マノア校大学院生

MARTIN, Kalikoaloha
ハワイ大学マノア校大学院生